

TOYOTA HILUX GUN125 (R2.8～)

WALD SPORTS LINE
BLACK BISON EDITION

取付説明書
WALD
Sportliche Autoausrüstung WALD International

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにフロントバンパースポイラーを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

■記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。

■本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。

■純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。

■作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。

■カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。

■本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。

■本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めて下さい。

■車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。

■取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いが、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。

■塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。

■WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。

■エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、縁石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)



このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

■接着部分は必ず脱脂を充分に行って下さい。

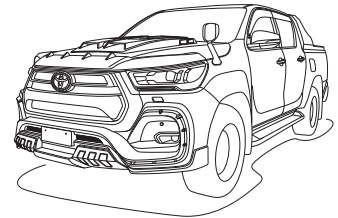
■コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。

■後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をオススメ致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
FRONT BAMPER SPOILER	フロントバンパースポイラー本体	1
	ダクトネット	2
	M6x20 ボルト&ワッシャー (フェンダー部)	4set
	M6x35 ボルト&ワッシャー (バンパー下部)	3set
	M5x16 ボルト&ナット (グリル固定用)	8set
	M5x16 ボルト (フォグランプ固定用)	6



FRONT BUMPER SPOILER

【塗装前作業】

- 1) 純正のサービスマニュアル等に従って、純正バンパーを取り外して下さい。
- 2) フェンダーとバンパーのつなぎ目にある、純正ブラケットを取り外して下さい。(別紙参照)
- 3) 純正グリルをスポイラーに組み付け、車両に仮合わせして下さい。
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
- 4) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 5) スポイラーを車両から取り外し、ライトウォッシャー・PTSセンサー付きの車両はスポイラーのケガキ線を参考に穴あけ加工を行って下さい。
※ライトウォッシャー付きの車両でも使用しない場合、穴あけは必要ありません。
スポイラー装着後にライトウォッシャーが作動しない様、配線は外して絶縁処理を行って下さい。

- 6) 純正グリルを移設する為、グリルをスポイラーに合わせてグリル側に固定用の穴を8箇所開けて下さい。(別紙参照)
- 7) 図を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

【塗装後作業】

- 8) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行って下さい。
- 9) 付属のダクトネットをスポイラーに取り付け下さい。(別紙参照)
- 10) 必要な純正部品をスポイラーへ移設して下さい。(別紙参照)
- 11) スポイラーを車両の取り付け位置に合わせて必要な配線を接続し各固定箇所を仮止めて下さい。
- 12) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、仮止め部分を確実に固定して下さい。

△ 注意 ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。

作業内容:(10) ■ライトウォッシャー移設説明図 (図:スポイラー内側)



純正ボルト(4カ所)

純正グリル移設
(別紙参照)

付属ダクトネット
(左右同様、別紙参照)

M6x35 付属ボルト・ワッシャー

純正ビス(左右同様)

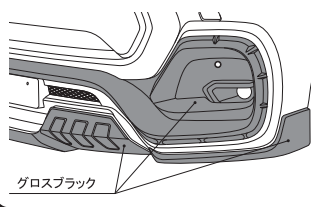
純正フォグランプ移設
(M5x16付属ボルトで固定、左右同様)

純正クリップ(左右同様)

ライトウォッシャー・PTSセンサー付きの車両は
穴あけ加工が必要になります。(左右同様)
※ケガキ線あり

作業内容:(7) ※塗り分け位置説明図

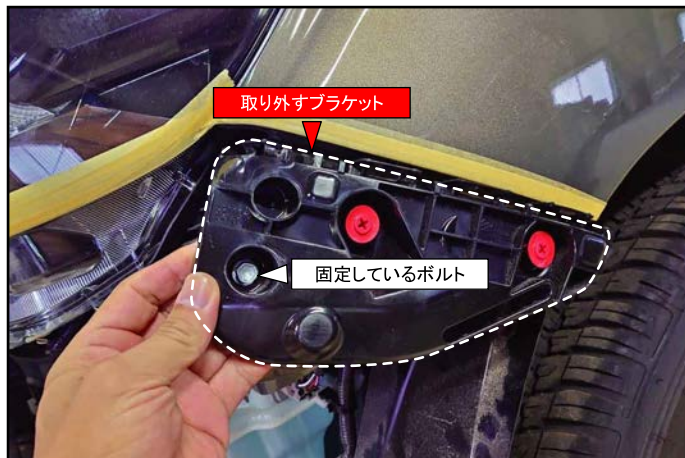
デモカーは図の様に塗り分けております。



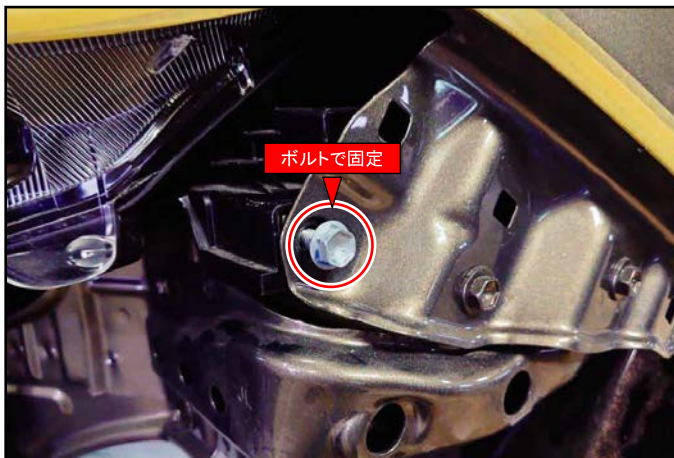
グロスブラック

本書はHILUXにフロントバンパースポイラーを取り付ける際の作業内容について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

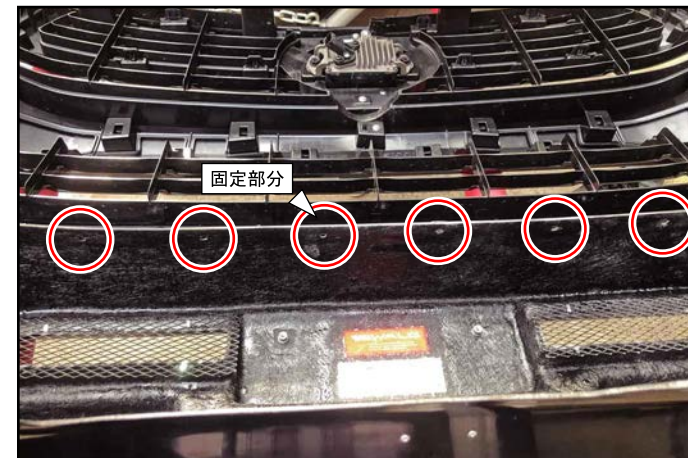
■ フロントスポイラー 取り付け要領書



スポイラーの装着にはフロントフェンダー先端にある、純正ブラケットの取り外しが必要になります。
ヘッドライト側のボルトを緩め、ブラケットを取り外して下さい。(左右同様)



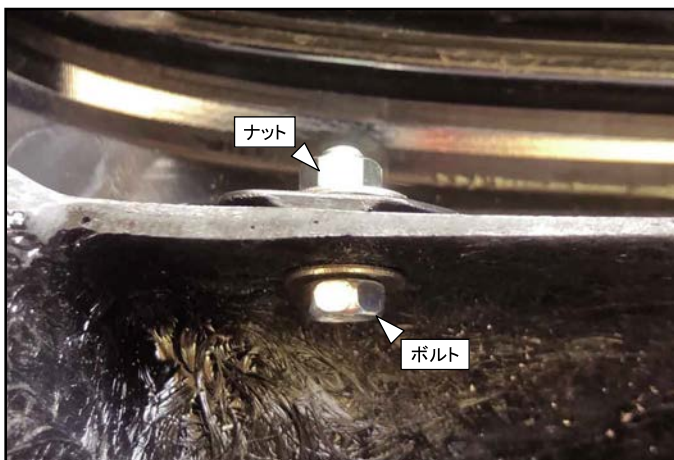
ブラケットを固定していたボルトはフェンダーの固定にも使われていますのでボルトは元に戻し、締め込んで下さい。



純正グリルをスポイラーに移設する為、グリルの底面に固定用の穴を開けます。
スポイラーにグリルを合わせ、スポイラー上部の穴を利用してグリル側に穴あけ位置をマーキングして下さい。



グリル底面のマーキングした位置に固定ボルトに応じた適切な穴を開け、スポイラー上部とグリルの底面を付属のボルト(M5x16)とナットで固定して下さい。



ボルトナットで固定した部分の画像です、計8箇所固定します。
※固定する際はまず8箇所全て仮留めした後に位置を整えて本締めして下さい。



塗装後、付属のダクトネットをスポイラーに付いている金具で固定し、コーキングボンド(別売)等で接着して下さい。(左右同様)

TOYOTA HILUX GUN125 (2017.9～)

WALD SPORTS LINE
BLACK BISON EDITION

取付説明書
WALD
Sportliche Autoausrüstung WALD International

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにボンネットスクープカバーを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いか、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、縁石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)



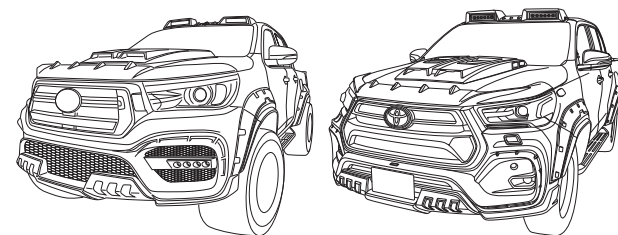
このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

- 接着部分は必ず脱脂を充分に行ってください。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をお薦め致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
BONNET SCOOP COVER	ボンネットスクープカバー本体	1
	M4x16 タッピングビス	16



BONNET SCOOP COVER

【塗装前作業】

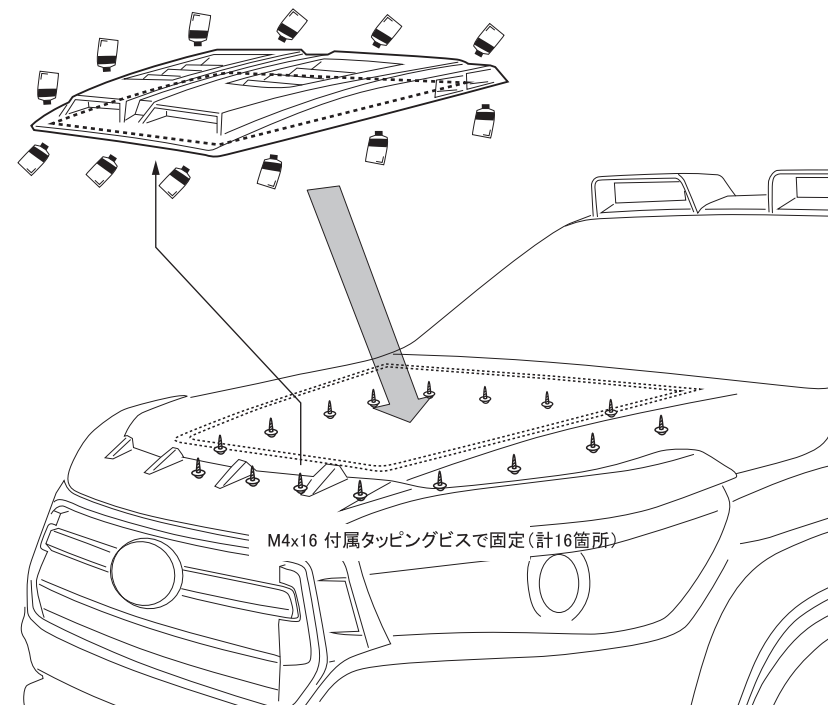
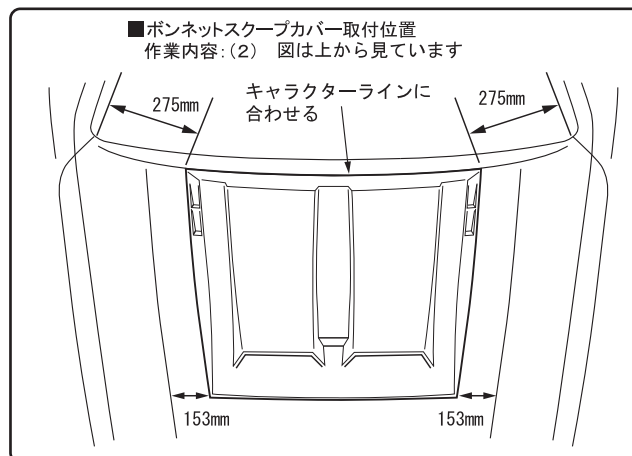
- 1) ボンネットスクープカバーを車両に仮合わせして下さい。
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
※ボンド処理は行わないで下さい。
- 2) 図を参考に正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 3) 別紙“塗り分け説明書”を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

※数値に関しましては車両誤差や採寸方法によって変わりますので参考数値とお考えください。

※接着部分に使用するボンドはシリコン系の物をお使い下さい。

【塗装後作業】

- 4) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行ってください。
- 5) ボンネットスクープカバーをマーキングした取り付け位置に合わせ、ボンド等(別売)で接着して下さい
- 6) 全体のバランスを見て正確な位置にある事が確認できましたらボンネット裏側から必ず付属タッピングビスで確実に固定して下さい。
※その際、車両側の穴開け部分には防水・防錆の処理を必ず施して下さい。
- 7) ボンネットスクープカバーが完全に接着するまで十分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。



△ 注意
※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。

TOYOTA HILUX GUN125 (2020.8～)

WALD SPORTS LINE
BLACK BISON EDITION

取付説明書
WALD
Sportliche Autoausrüstung WALD International

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにバグガードを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めて下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のガタツキ等が無いが、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、縁石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)

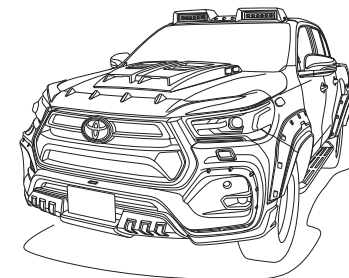
このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

- 接着部分は必ず脱脂を充分に行ってください。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事を薦め致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
BUG GUARD	バグガード本体	1



BUG GUARD

【塗装前作業】

- 1) 純正のサービスマニュアル等に従って、ボンネット先端中央部の純正メッキパーツ取り外して下さい。(取り外した純正パーツや部品は保管願います。)
- 2) バグガードを車両に仮合わせして下さい。
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
※ボンド処理は行わないで下さい。
- 3) ボンネットを閉じた状態でフェンダーとのズレがある場合はエンジンルーム内の調整ゴムにてボンネットの高さを調整して下さい。
- 4) 図を参考に正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 5) 別紙“塗り分け説明書”を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

【塗装後作業】

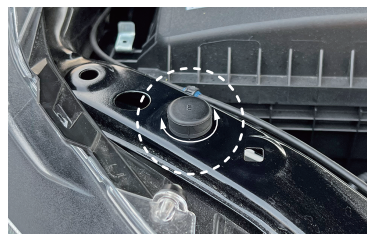
- 6) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行って下さい。
- 7) バグガードをマーキングした取り付け位置に合わせ、ボンド等(別売)で接着して下さい。
- 8) 全体のバランスを見て正確な位置にある事が確認できましたら確実に固定して下さい。
- 9) バグガードが完全に接着するまで充分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。

△ 注意

※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。

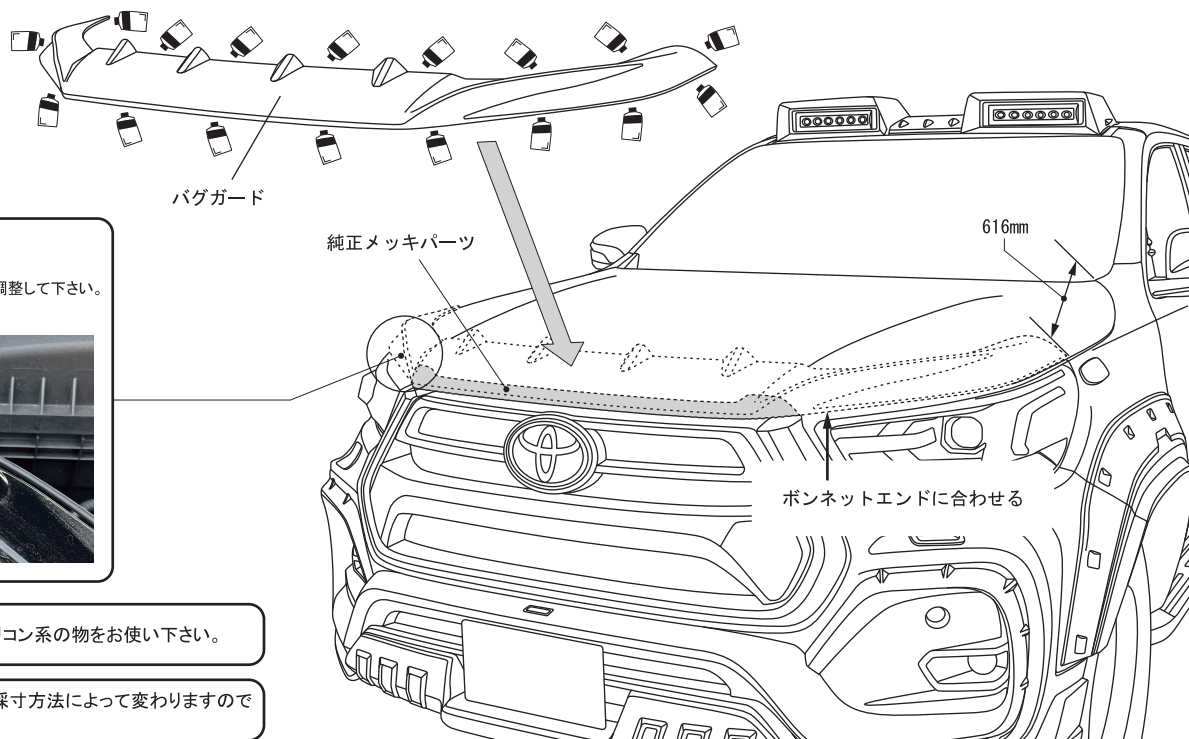
作業内容: (3)

ボンネットの高さは画像のゴムを回して調整して下さい。
※調整ゴムは左右にあります。



※接着部分に使用するボンドはシリコン系の物をお使い下さい。

※数値に関しましては車両誤差や採寸方法によって変わりますので参考数値とお考えください。



TOYOTA HILUX GUN125 (2020.8～)

WALD SPORTS LINE
BLACK BISON EDITION

取付説明書
WALD
Sportliche Autoausrüstung WALD International

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにリアスパッツを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のガタツキ等が無いが、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、縁石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)



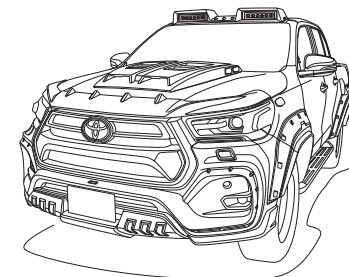
このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

- 接着部分は必ず脱脂を充分に行って下さい。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をお薦め致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
REAR SPATS	リアスパッツ 左右	1set



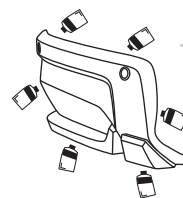
REAR SPATS

【塗装前作業】

- 1) 図を参考にリアスパッツを純正リアバンパーのメッキ部分に被せる様、車両へ仮組して下さい。
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
- 2) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 3) PTSセンサー移植の為、純正リアバンパーのメッキ部分を加工して下さい。(別紙参照)
- 4) 別紙“塗り分け説明書”を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

【塗装後作業】

- 5) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行って下さい。
- 6) リアスパッツにPTSセンサーを土台ごと移植して下さい。(別紙参照)
- 7) リアスパッツをマーキングした取り付け位置に合わせ、ボンド等(別売)で接着して下さい。
- 8) 全体のバランスを見て正確な位置にある事が確認できましたら確実に固定して下さい。
- 9) リアスパッツが完全に接着するまで充分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。

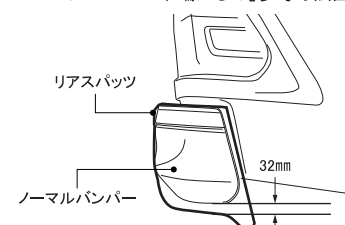


※接着部分に使用するボンドはシリコン系の物をお使い下さい。

※数値に関しましては車両誤差や採寸方法によって変わりますので参考数値とお考えください。

PTSセンサー(純正移植、左右同様)
※PTSセンサーの取り付けには加工が必要です。(別紙参照)

■ノーマルバンパー下端からの」参考寸法図



△ 注意

- ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
- ※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。

TOYOTA HILUX GUN125 (2017.9～)

WALD SPORTS LINE
BLACK BISON EDITION

取付説明書
WALD
Sportliche Autoausrüstung WALD International

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにフロントルーフスポイラーを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いが、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、縁石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)



このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

- 接着部分は必ず脱脂を充分に行ってください。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をお薦め致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
FRONT ROOF SPOILER	フロントルーフスポイラー本体	1
	M6x30 ボルト	4
	M3x15 皿タッピングビス	8
	M6 ナット	2
	ワッシャー	6
	ステー A	2
OPTION PARTS	ステー B (ボルト、ナット付き)	2
	ステー C	1
	LEDランプ (LEDHMLB1030、ナット付き)	1set
	リレーハーネス (別売)	1

※本製品の取り付けにより車検証記載の車両寸法から数値が変わりますので構造変更が必要になります。

FRONT ROOF SPOILER

【塗装前作業】

※本製品の取り付けにはルーフアンテナの取り外しが必要になります。

それに伴いラジオの受信感度が低下する場合がありますので予めご了承下さい。

- 1) 上部の付属カバーをルーフスポイラー本体に仮合わせし、カバー固定用の穴を利用してルーフスポイラーの本体側に穴あけ位置をマーキングして下さい。
- 2) カバーを外し、マーキングした位置に約1.5φの穴を開けて下さい。
- 3) 図を参考にルーフスポイラー本体を車両に仮合わせて下さい。

付属ステーはAとBを組み付け後、Cの順に取り付けます。

※その際、干渉する部分や穴位置のズレがありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。

※まだボンド処理は行わないで下さい。

- 4) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。

- 5) LEDランプの接続に必要な配線作業を行い、点灯確認・照射角度の調整をして下さい。

※使用しない配線(車両側も含む)に関しては、必ず絶縁処理を行って下さい。

- 6) 別紙“塗り分け説明書”を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

【塗装後作業】

- 7) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行ってください。

- 8) 図を参考にルーフスポイラーを組み立てて下さい。

- 9) ルーフスポイラーを車両の取り付け位置に合わせてボンド等(別売)で接着し各固定箇所を仮止めして下さい。

- 10) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、仮止め部分を確実に固定して下さい。

- 11) ルーフスポイラーが完全に接着するまで十分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。

△ 注意

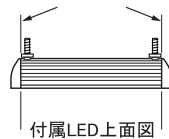
※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。

※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。

※配線作業は必ず通電しない状態で行って下さい。(バッテリー端子を取り外す等、車両に適した方法をとって下さい。)

※付属LED取り付け説明図
作業内容: (3,8)

ボルト位置はサイドカバー見切り位置で、はまるように設定しています



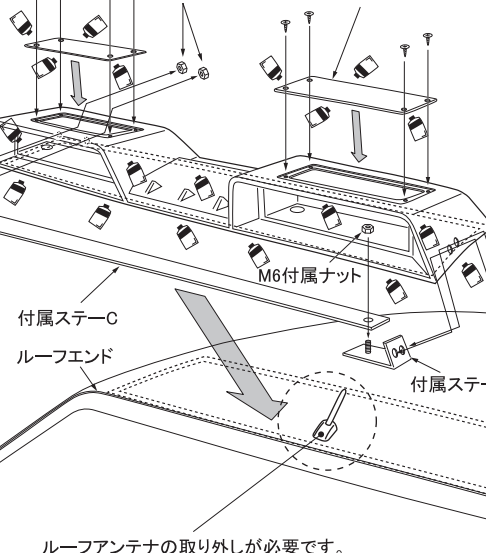
付属LED
(左右同様)

※接着部分に使用するボンドはシリコン系の物をお使い下さい。

M3x15付属 皿タッピングビス

付属ナット

付属カバー



付属ステーC

ルーフエンド

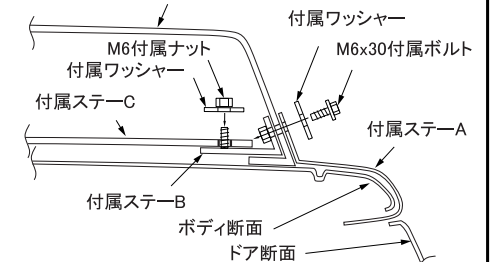
M6付属ナット

付属ステーB

ルーフアンテナの取り外しが必要です。

※付属ステー取り付け断面図(左右同様)
作業内容: (3,8)

フロントルーフスポイラー断面



付属ステーB

ボディ断面

ドア断面

M6x30付属ボルト

付属ステーA

TOYOTA HILUX GUN125 (2017.9～)

WALD SPORTS LINE
BLACK BISON EDITION

取付説明書
WALD
Sportliche Autoausrüstung WALD International

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにリアゲートスポイラーを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いか、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、縁石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)

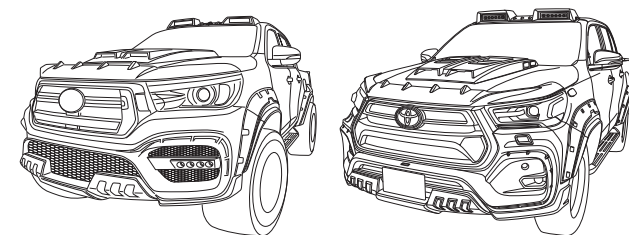
このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

- 接着部分は必ず脱脂を充分に行って下さい。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をお薦め致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
REAR GATE SPOILER	リアゲートスポイラー センター用	1
	リアゲートスポイラー 左右用	1set
OPTION PARTS	リアゲートスポイラー用 飾りビス	11



REAR GATE SPOILER

【塗装前作業】

- 1)リアゲートスポイラーを車両の取り付け位置に仮合わせして下さい。
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
- 2)全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 3)別紙“塗り分け説明書”を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

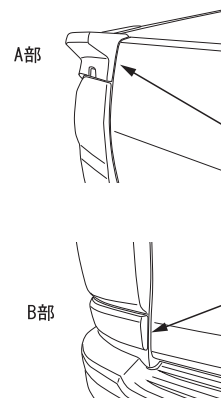
【塗装後作業】

- 4)各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行って下さい。
- 5)リアゲートスポイラーをマーキングした取り付け位置に合わせ、ボンド等(別売)で接着して下さい。
- 6)全体のバランスを見て正確な位置にある事が確認できましたら確実に固定して下さい。
- 7)リアゲートスポイラーが完全に接着するまで充分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。
- 8)オプションの飾りビスを取り付ける場合は、ボンド等(別売)で接着して下さい。

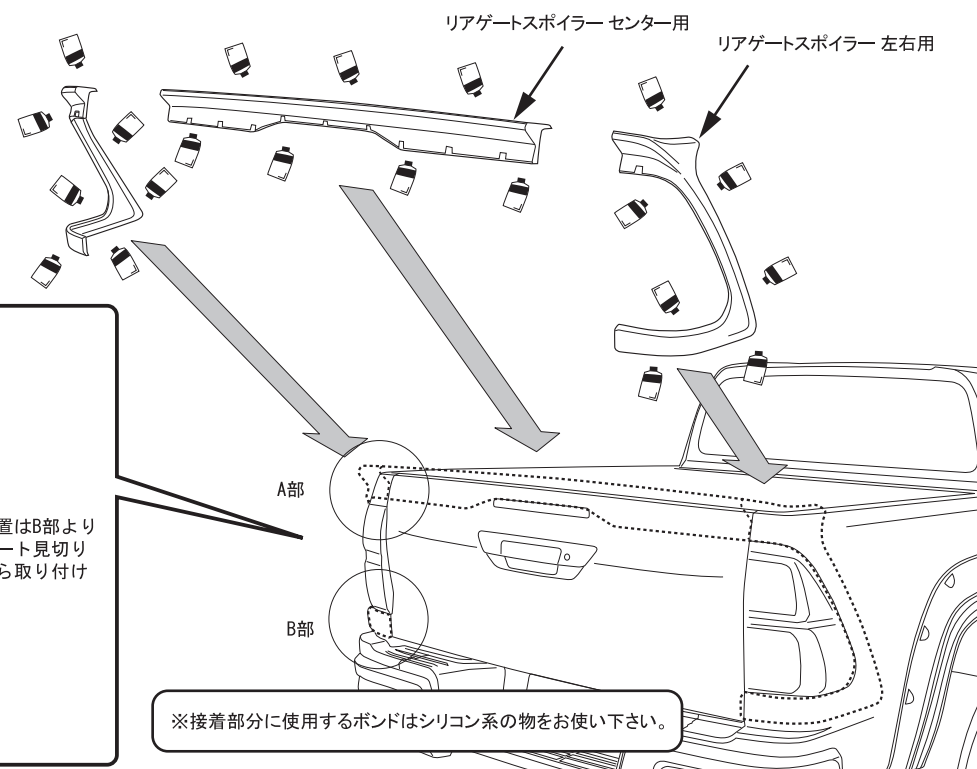
△ 注意

- ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
- ※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。

■ゲートスポイラー取り付け説明図



両サイドのパーツの位置はB部より取り付けを行いリアゲート見切りよりバランスを見ながら取り付けして下さい。



WALD INTERNATIONAL

株式会社 ヴァルド

〒569-0072 大阪府高槻市京口町10-13 Tel.072-673-3000 (代) Fax.072-673-3003

2022/02

TOYOTA HILUX GUN125 (2020.8～)

WALD SPORTS LINE
BLACK BISON EDITION

取付説明書
WALD
Sportliche Autoausrüstung WALD International

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにフロントオーバーフェンダーを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

△ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け穴及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いが、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、縁石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)

このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

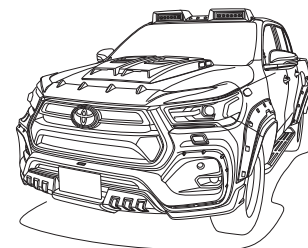
- 接着部分は必ず脱脂を充分に行ってください。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をお薦め致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
FRONT OVER FENDER	フロントオーバーフェンダー本体A,B (左右)	1set
	M4x15 タッピングビス	4
OPTION PARTS	オーバーフェンダー用 飾りビス	16

※本製品の取り付けにより車検証記載の車両寸法から数値が変わりますので構造変更が必要になります。



FRONT OVER FENDER

【塗装前作業】

- 1) 純正マッドガードを車両から取り外して下さい。
※フェンダー内側の純正ビス(3箇所)はオーバーフェンダーの固定に使用します。
- 2) 図を参考にフロントオーバーフェンダーA・Bそれぞれ車両に仮合わせして下さい。
フロントオーバーフェンダーAは純正クリップを使用し、固定して下さい。(両面テープは使用しないで下さい。)
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
- 3) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 4) フロントオーバーフェンダーBの固定部分にスポイラーのビス穴を利用し、車両側に穴開け位置をマーキングして下さい。
- 5) フロントオーバーフェンダーを車両から取り外し、マーキングの位置に取り付けビスに応じた適切な穴を開けて下さい。
- 6) 別紙“塗り分け説明書”を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

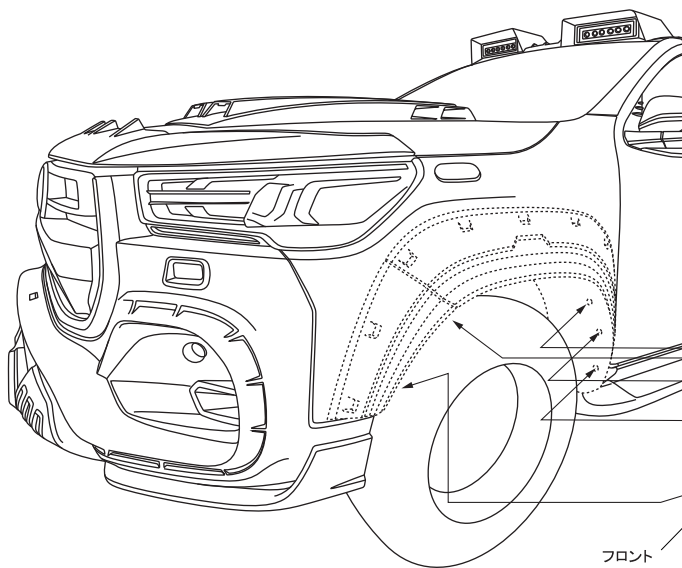
※接着部分に使用するボンドはシリコン系の物をお使い下さい。

【塗装後作業】

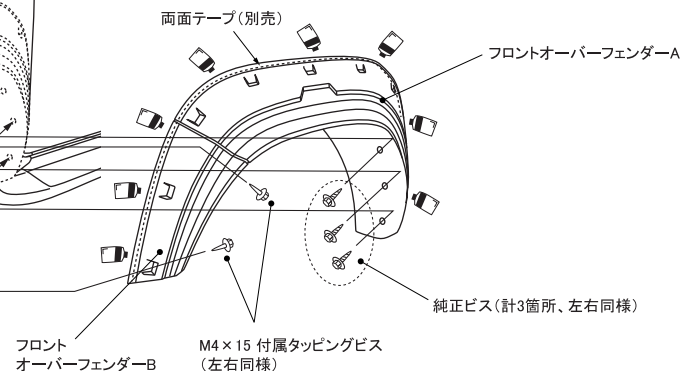
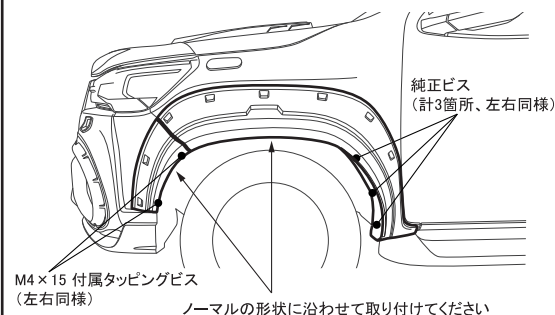
- 7) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行ってください。
- 8) フロントオーバーフェンダーをマーキングした取り付け位置に合わせて両面テープ(別売)とボンド等(別売)を併用して接着し、各固定箇所を仮止めて下さい。
※両面テープの剥離紙は、全て剥がさず調整ができる様に両端のみを剥がして下さい。
- 9) 全体のバランスを見て正確な位置にある事が確認できましたら接着部分と仮止め部分を確実に固定して下さい。
- 10) フロントオーバーフェンダーが完全に接着するまで充分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。
- 11) オプションの飾りビスを取り付ける場合は、ボンド等(別売)で接着して下さい。

△ 注意

- ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
- ※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。



■フロントオーバーフェンダー取付説明図(左右同様)



TOYOTA HILUX GUN125 (2017.9～)

WALD SPORTS LINE
BLACK BISON EDITION

取付説明書
WALD
Sportliche Autoausrüstung WALD International

この度は当社の製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本書はHILUXにリアオーバーフェンダーを取り付ける場合の取り付け要領について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

⚠ 注意 ※取り付け上の不備による不具合及び塗装後の返品には応じられませんのでご注意ください。

※本製品は塗装前に必ず車両に仮り合わせ、隙間調整を行って下さい。

- 記載内容を守らなかった為の不具合につきましては責任を負いかねる場合がありますので予め御了承下さい。
- 本製品を改造しての取り付けは絶対にしないで下さい。
- 純正部品取り外し時の御不明点は車両販売ディーラーにお問い合わせ下さい。
- 作業は全て、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止し完全に冷めて、車両が確実に固定されている事を確認してからタイヤを外して行って下さい。
- カッターナイフ等を使用する際は充分取扱いに注意して作業を行って下さい。ケガ等の一切の責任は負いかねます。
- 本製品は製品、車両誤差等により、取り付け及び車両との合わせ部をヤスリ等で削り調整して頂く場合がございます。
- 本製品はFRP成型品です。無理な力を加えると破損する恐れがございます。特にビス、ボルト固定の際は必ず全体を仮止めし各部の取り付け具合を確認しながら少しずつ細心の注意で無理な力を加えないように本締めして下さい。
- 車両側の穴開け部には腐食防止の処理を施して下さい。
- 取り付け完了後は各取り付け部及び全体のカタツキ等が無いか、再確認して下さい。又、一定期間毎に取り付け確認、必要に応じて増締めを行って下さい。
- 塗装の塗り分け指示は、あくまで推奨です。お客様の御判断で塗り分けを行って下さい。
- WALD製品は使用目的や使用範囲が限定されており、純正部品とは別の扱いとなる為、車両保証や修理が受けられない場合がございます。予めご了承下さい。
- エアロパーツを装着すると最低地上高が下がる為、縁石や段差にパーツが干渉する場合がございます。またガレージジャッキ等が指定の位置で使えなくなる場合がございます。FRP製、ABS製、PPE製のパーツの場合、純正部品より衝撃に弱くなります。また、車両の色と完全に一致しないことや、取付部に多少のズレが生じる場合もあります。予めご了承下さい。

コーキングボンド使用(別売)



このマークの部分はコーキングボンドでスポイラーとボディの隙間がきれいに埋まる様に接着して下さい。

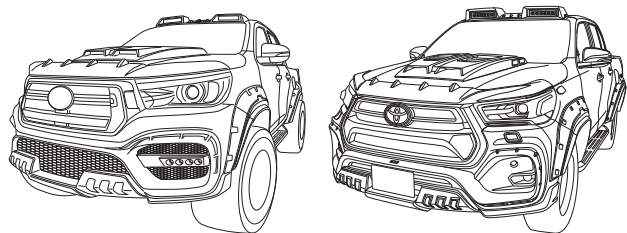
- 接着部分は必ず脱脂を充分に行ってください。
- コーキングボンドで接着後は完全に接着するまで放置し、洗車等濡れる事は避けて下さい。
- 後々、脱着が必要になる部分にはシリコン系のボンドを使用する事をお薦め致します。

※コーキングボンドはお近くの自動車用品店やホームセンター等でお買い求め下さい。

※付属ビス等が付く商品に関しては別袋に入れ、製品の外袋に貼り付けていますのでご注意ください。

	構成部品	数量
REAR OVER FENDER	リアオーバーフェンダー本体	1set
OPTION PARTS	オーバーフェンダー用 飾りビス	17

※本製品の取り付けにより車検証記載の車両寸法から数値が変わりますので構造変更が必要になります。



REAR OVER FENDER

【塗装前作業】

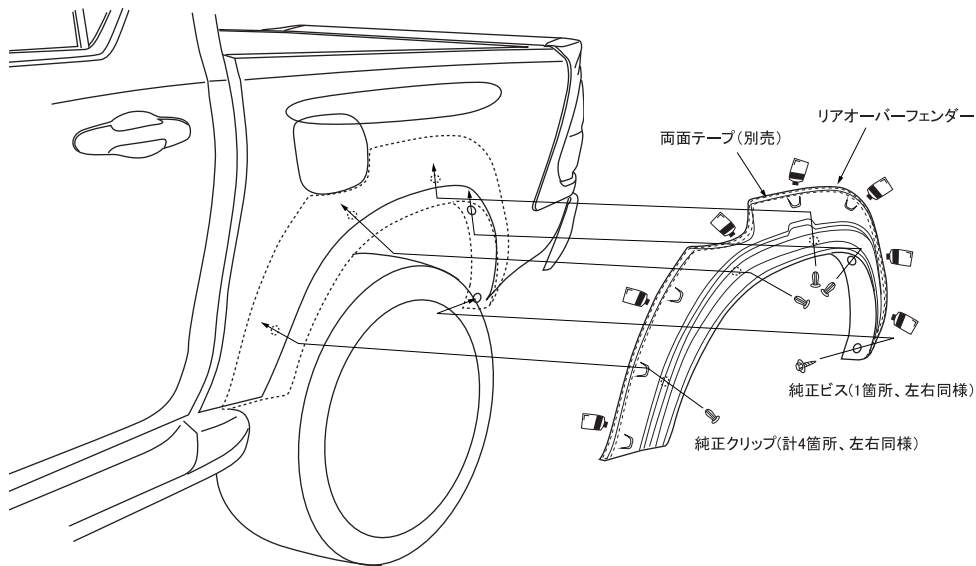
- 1) 純正マッドガードを車両から取り外し、インナーカバーを固定しているフェンダー内側の純正クリップ(4箇所)を取り外して下さい。
※フェンダー内側の純正ビス(1箇所)と純正クリップはオーバーフェンダーの固定に使用します。
- 2) リアオーバーフェンダーを車両に仮合わせして下さい。(両面テープは使用しないで下さい。)
※その際、干渉する部分がありましたら無理に組まずにヤスリ等で削り微調整を行って下さい。
- 3) 全体のバランスを見て正確な位置にある事を確認し、マスキングテープ等で取り付け位置をマーキングして下さい。
- 4) 別紙“塗り分け説明書”を参考に任意で塗り分けを行って下さい。

【塗装後作業】

- 5) 各部、接着する部分は車両側も含め脱脂を充分に行ってください。
- 6) リアオーバーフェンダーをマーキングした取り付け位置に合わせて両面テープ(別売)とボンド等(別売)を併用して接着し、各固定箇所を仮止めして下さい。
※両面テープの剥離紙は、全て剥がさず調整ができる様に両端のみを剥がして下さい。
- 7) 全体のバランスを見て正確な位置にある事が確認できましたら接着部分と仮止め部分を確実に固定して下さい。
- 8) リアオーバーフェンダーが完全に接着するまで充分に圧着した状態でズレない様に固定しておいて下さい。
- 9) オプションの飾りビスを取り付ける場合は、ボンド等(別売)で接着して下さい。

⚠ 注意

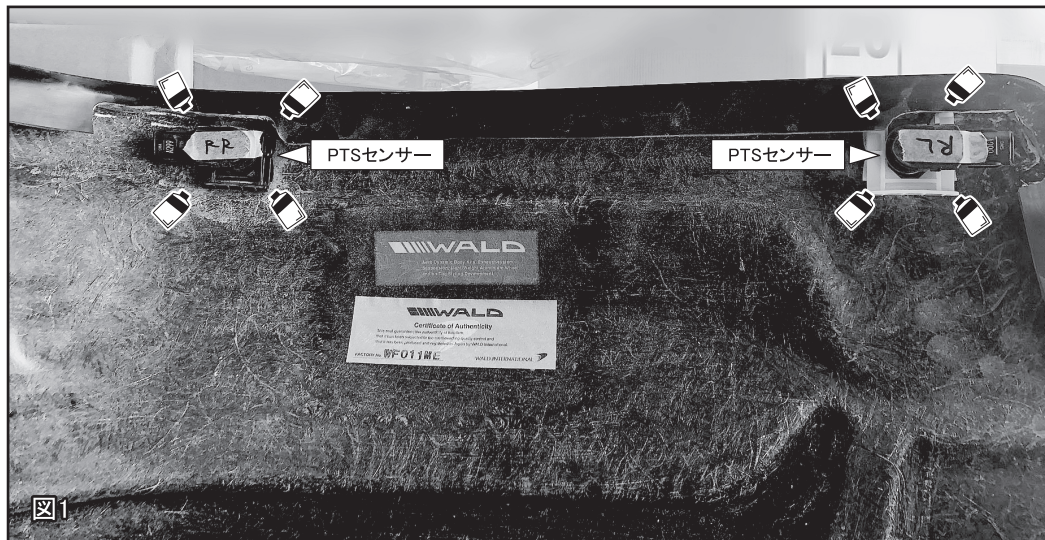
- ※作業は2名以上で行い、ボディにキズが付かない様に注意して下さい。
- ※車両の誤差でズレ等が生じる場合は各部調整を行って下さい。



※接着部分に使用するボンドはシリコン系の物をお使い下さい。

本書はHILUX リアスパッツにPTSセンサーの移植をする際に必要な純正パーツの加工部分について記載しております。取り付け前に必ずお読み頂き、記載内容に従って正しく取り付けを行って下さい。

■ PTSセンサー移植に関する要領書



リアスパッツにPTSセンサーを土台ごと移植し、コーキングボンド(別売)等で接着して下さい(図1)。センサーの移植により、センサーのユニット等が純正バンパーと干渉しますので純正センサー穴(図2)の部分のカットして広げます(図3)。

カットした穴からセンサーユニットを引き出し(図4)、リアスパッツに移植したPTSセンサーと接続します。

※純正バンパーからセンサーを外す際はどの位置に付いていた物かわかる様にマーキング等を付け、正しい位置に取り付けて下さい。位置が変わると正常に作動しない可能性がありますので注意して下さい。